

# 林惱煩遊

順正寺報  
2020 正月

## 修正会 (お初座)

一月五日(日)

午後一時より

お初座読経

法話

おとき (勝手に順正寺名物を名告る

大根炊き他)

福引

本年最初の法座です。ほとけさまにごあいさつしましょう。

ここ数年、おときでお出ししている大根炊きは好評につき勝手に順正寺名物を名告る事にしました。そのほかお酒もちよっぴり用意しています是非お参り下さい。みんなで楽しくワイワイやりましょう

尚、お寺での法要(お彼岸、お盆、報恩講)などどんな服装で参詣すれば良いのかよくご質問がありますが決まりはありません。普段着で気軽にお参り頂ければと思います。まあ欲を言えば年に数回のご参詣、華やかに、賑々しくおいで下され!

新しい年を迎えられたこと、お慶び申し上げます

さて、今年は同級生の多くが還暦を迎えます。私は早生まれなので実質来年還暦ですが。それにしても六十才の自分が未だに想像できません。不惑を過ぎて二十年経ちますが未だ迷妄の最中にあり、還暦の自覚は全くありません。たまに街角の商店のガラスドアに映った己のジジイぶりに愕然とする事はありますが。問題は見た目すっかりジジイなのに中身は全く老成していないとあります。「少年の心を持った大人」はかっこいいですが「見た目大人、中身はガキ」はトホホな感じですよ。例えば行動もほぼ条件反射に身を任せ状態だし、何か思いついて、それが自分の中で盛り上がったら即行動。思いついてそれをじっくり検証して、しっかり計画を立てて行動するのがちゃんとした大人なんでしょうが、盛り上がったらって、やばいな。

そんな中で前回お伝えした「順正寺ラヂオ」を配信スタートしました！これはラジオと言っても普通のラジオ機器ではなく、インターネットを利用し、スマートフォンやパソコンで聴けるPodcastといわれるモノです。当然私一人では思いつきません、強力な仲間のサポートあつての事です。それに合わせFacebook「順正寺（真宗大谷派・京都東本願寺）」にも投稿始めました。今年は、それにYouTube動画配信、

ホームページリニューアル等、ウェブ関連を充実させていく予定です。

このような横文字いっぱいなことは私の中にはないので先にも書きましたがまさにサポートしてくれる仲間のお蔭です。そうやって考えると社会不適合者のくくりに入る私が六十年生きてこれ、その上、妻子を養え、お寺を何とか運営出来ているのも大勢の人の支えがあつたればこそと少しは謙虚になつてみます。

ま、お正月だしね。

お寺を取り巻くご縁も急速に変化し法事、葬儀でさえ消費という経済活動に組み込まれその視点で語られる世になりました。私自身も住職という寺院経営者である以上その視点を持たざるを得ません。面白いものでそんな移り気な世間を批判し糾弾し、自己の矛盾を嘆いている時はにっちもさっちも行かず、気力も湧きませんが、「お蔭さま」が解ると状況に抗う力が湧いてきます。

長くお付き合い頂いている皆さんはまたやつてると思われましょうが還暦になつても相変わらずというか、ますます、「馬鹿だねえ、あいつは」と言われることをやってしまうのでしよう。それが順正寺の住職です。

本年もよろしくお付き合い下さい。

合掌住職



新年のご挨拶を申し上げます。

現在、いろいろな宗教教団で作っている人権問題・差別問題の会議の委員もやらせてもらっています。そして、肩書きのないときは、練馬の石神井をふらついているおじさんもやっているわけです。

で、この一年を振り返りますと、公私ともに自己矛盾に気付かされた一年でありました。

人権関連の視線から社会に触れていくと、差別する側に立つ人を排除する気持ちがわたし自身を差別する側に立たせることもありました。差別を受け、人権を侵害されている方々とたまたま一緒に行動をしているというだけで創り上げられた欺瞞と偽善に満ちたところは、わたしを善人に仕立て上げ、正義に立たせ、悪を叩き、ひいては相反するものを弱者として作り出し叩きのめす、そんな自分になろうとしていることもありました。

肩書きのないおじさんのとき、運転中に車のエンジンが止まってしまおうというアクシデントにみまわれしました。大通りで止まってしまって、どうにもならずにいたときに、バイクで通りがかった方が声をかけてくれ、誘導してくれ、車をなんとか路肩に停

めることができ、一安心。本当にその方には感謝で、自分の車のせいで渋滞化してしまっている後続の車の方々には申し訳なく思っていたのですが、数台の車は追い抜きざまにクラクションを鳴らし、罵声を浴びせてました。気が付くとその車に対して罵声を返す自分がいました。自分に都合よくしてくれる人には感謝、都合悪い人には悪意しかない、結局はそんなところで生きていくのだなあ、と。

親鸞聖人が伝えてくれた仏法は、あとづけ、後日、今更でしかないのですが、「お前、それ、ハズいよ」「そこに立つちゃってるんだあ」と、気づきをくれ、己の価値観に溺れ、社会という名の迷路を彷徨い惑っているわたしに、自分が矛盾に満ちている、と気づかせてくれ、それでも直せない自分、できない自分であること、それなのにできると思い込んでいる自分にまで目を向けろと促してくれています。

悪性（あくししょう）さらにやめがたし

こころは蛇蝎（じやくかつ）のごとくなり（親鸞）

今年も、ますます懲りずに、恥ずかしげもなく正しい人となって生きていくのでしよう。ハァー……。  
本年もよろしく願いいたします。

副住職

\*本文の順正寺ラヂオはfacebook経由でspotifyのアプリをダウンロードして頂けると聴けます。他は多分アンドロイド端末のgooglepodcast, Breaker, RadioPublicで配信されるようです。残念ながらapplepodcastsにはまだ登録されていません。

\*先日、プラタモリで久しぶりに宮沢賢治の「アメニモマケズ」を読んだ。一見、癒される良さがあるが、前から違和感があった。これは何か立派な言葉や、癒される言葉ではないのじゃないか。ほとんどの部分はある意味理想的な人間像で、「ヒデリノトキハナミダヲナガシ」から「クニモサレズ」は賢治の現状で「サウイウモノニワタシハナリタイ」とは賢治自身が思う理想的な人間を目指すかそうはならず、デクのボーと自らを呼ばなければならない現状、それでもデクのボーと呼ばれることを潔しとしない苦悩があるように思う。穿ちすぎかな。でもそういう宮沢賢治なら友達にしてもらえる気がする。

### 住職からのお願

今東京では火葬場が不足しています。皆さんご経験のとおり通夜葬儀の日程はお寺の都合より火葬場の都合が優先されてしまいます。その為、「ご法事の時間のお約束を頂いても変更をお願いすることがあります。葬儀をお勤めすることはそのお家の方にとって一生の一大事です。そこは相身互い、どうかご寛恕下さいますようお願い致します

定例行事 いずれもご自由にご参加下さい

聞法会 毎月2日夜7時から、「御文」のお話、座談会をやっています(1月、8月はお休み)

歎異抄を読み聞く会「微妙音」 毎月5日午後2時  
一月と八月はお休み

白色白光の会(婦人会) 毎月第2木曜午後1時  
お経(正信偈)の練習と法話と茶話会

「照久会」浄土真宗初めて講座 二月、四月、六月、十月、  
十二月の第2土曜午後2時より5時まで(参加費 2千円、  
照久会会員は千円) 講師 聞成寺住職 佐竹貴裕師

仏像なぞり書き、塗り絵「仏像描くぞう」

第2月曜午後3時と月の最終日曜日午後3時から

参加費三百円(初回のみ別途テキスト代千円)

順正寺

練馬区石神井町3-17-4

03-3996-2064